

<特集「情報標示の諸要素」>

中国語 Markers of information structure in Chinese

三宅 登之
Takayuki Miyake

東京外国語大学大学院総合国際学研究院
Tokyo University of Foreign Studies, Institute of Global Studies

要旨: 本稿は特集「情報表示の諸要素」(『語学研究所論集』第22号, 2017, 東京外国語大学)に寄与する。本稿の目的は25個のアンケート項目に対する中国語データを与えることである。

Abstract: This report contributes to the special cross-linguistic study on ‘markers of informational structure’ (*Journal of the Institute of Language Research* 22, 2017, Tokyo University of Foreign Studies). The purpose of this paper is to offer the Chinese data for the question of 25 phrases.

キーワード: 主語卓越型言語, 取り立て表現, 不定表現, 情報の縄張り

Keywords: subject-prominent language, emphasizing expression, indefinite expression, informational territory

小稿では, アンケート項目に回答する形を通して, 以下に中国語の言語データを示す¹。

[1] この土地は野菜がよく育つ。だから高い値段で売れるだろう。

这块土地 蔬菜 长得 很好, 所以 大概 可以 以 高价 卖 出去。

この CLF 土地 野菜 育つ <様態> とても 良い だから たぶん ~できる ~で 高値 売る 出す

「この土地」(“这块土地”)は主題(topic)として文頭に置かれる。また, 全体は複文となっているが, 前半節の文型としては, “这块土地”(この土地)が主語, “蔬菜长得很好”(野菜がよく育つ)が述語, さらにその述語の中が, “蔬菜”(野菜)が主語, “长得很好”が述語という, 主述述語文(“主谓谓语句”)と分析することができる。

[2] 私は頭が痛い。だから今日は休む。

我 头疼, 所以 今天 休息。

私 頭痛い だから 今日 休む

“我头疼”(私は頭が痛い)の部分は[1]と同様に主述述語文と分析することが可能であるが, 『現代汉语词典(第7版)』²では“头疼”を1語(形容詞)で登録しているため, 形容詞述語文とも考えられる。複文の前半で主語“我”が提示されているので, 後半の主語は省略されている。



本稿の著作権は著者が保持し、クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス(CC-BY)下に提供します。
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

¹ 中国語データは, 胡良娜さん(本学大学院博士後期課程, 中国山東省日照市出身)にご提供いただいた。ご協力に感謝の意を表す。ただし, 小稿での分析に問題点があれば全て責任は筆者(三宅)に帰するものである。

² 『現代汉语词典(第7版)』中国社会科学院语言研究所词典编辑室編, 商务印书馆, 2016年。

[3] あの人だけ、時間通りに来た。

只有 他 准时 到 了。

～だけ 彼 時間通り 着く <変化>

[4] これはここでしか買えない。

这个 只有 在 这儿 才 能 买 到。

これ ～だけ ～で ここ はじめて できる 買う <達成>

「～だけ」という限定の意味は様々な語句で表現できるが、[3][4]では接続詞“只有”（ただ～だけが～だ、～してこそはじめて～だ）で表されている。[4]では後に副詞“才”を置いて“只有～才～”というパターンが用いられている。

[5] その家にいたのは子供ばかりだった。

那 时候 那个 家 里 尽 是 小孩子。

その 時 その 家 中 全て ～だ 子供

[5]では副詞“尽”（すべて、ことごとく）を用いて「～ばかり」という意味を表している。“尽是～”で「～だらけである」「～ばかりである」という意味で、ある空間がその成員だけで埋め尽くされていることを表す。

[6] 次回こそ、失敗しないようにしよう。

我们 下次 一定 不要 再 失败。

私たち 次回 必ず ～してはいけない また 失敗する

[6]においては「～こそ」を表す語彙的な要素は用いられていない。「次回こそ失敗しないように」ということは「今回は失敗した、なので次回は決して失敗を繰り返さないように」のような話者の意図が表現されていると思われるが、しいて言えばこの文ではそのような話者の意図は“一定”（必ず）という副詞で表されていると考えることができる。

[7] 疲れたね、お茶でも飲もう。

累 了 吧， 咱们 喝 杯 茶 吧。

疲れる <変化> <推察> 私たち 飲む ～杯 お茶 <提案>

「お茶でも」のいわば気軽な語感、[7]では、量詞“杯”が担っていると言っていいであろう。文法的にはこの量詞“杯”の前に数詞“一”が省略されていると考える。このように数詞は“一”の場合のみ省略できる。文字通りとると「1杯のお茶を飲もう」と言っているわけであるが、ここでの数量詞“一杯”は、「2杯ではなく1杯だ」といった数量を相手に伝えることに主眼があるのではなく、“一”という最小の数量単位を使うことによって、動作の少量を相手に行うことを誘いかけており、相手にかかる負担の少ない、気軽な提案の語感を表すことにつながっている。

[8] 水さえあれば、数日間は大丈夫だ。

只要 有 水， 挨 几 天 饿 是 没有 问题 的。

～さえすれば ある 水 受ける 数 日 ひもじい ～だ ない 問題

「～さえ」の部分は、必要条件を表す接続詞“只要”によって表されている。

[9] 小さい子供まで、その仕事の手伝いをさせられた。

连 小孩子 都 被 逼 着 去 帮忙 做 那个 工作。

～さえ 子供 も <受動> 強制する <持続> 行く 手伝う する その 仕事

[9]における「～まで」は、介詞（前置詞）“连”によって表されている。通常はその後で副詞“都”あるいは“也”で受ける。“连～都”あるいは“连～也”で、「～さえも、～までも」と、包含するもののうち極端な例を取りあげて強調する機能を持つ構造である。

[10] 私はお金なんか欲しくない。

我 根本 不 想 要 钱。

私 全く <否定> 思う 要る お金

日本語では「～なんか」と言えば、話者がそれに対して低評価を下していることが表せるが、[10]は中国語では強い打ち消し（この文では「お金が欲しい」ということに対する強い打ち消し）ととらえて、副詞“根本”（全く）を用いている。

[11] 自分の部屋ぐらい、自分できれいにしなさい。

最 起码 把 自己 的 房间 收拾 干净。

最も 少なくとも ～を 自分 の 部屋 片付ける きれいな

「～ぐらい」の表す「最低限」という意味は、中国語では副詞“起码”（最低でも、少なくとも、最小限）で表されている。

[12] 私にもちょうだい。

你 也 给 我 一点 儿 吧。

あなた も 与える 私 少し <提案>

「～も」の意味を表すには、中国語では副詞“也”を用いる。“也”は二つの事柄が同じであることを表す。

[13] お父さんもう帰って来たね。お母さんは？

爸爸 已经 回来 了。 妈妈 呢？

父 もう 帰ってくる <完了> 母 ～は？

「～は？」は語気助詞“呢”を用いて“～呢？”で表される。このタイプの疑問文は省略疑問文と呼ばれることもある。[13]では“妈妈回来了吗？”（お母さんは帰ってきた？）という内容を聞いているわけだが、文脈でそれが明らかなので“妈妈”だけが用いられその他の部分が省略されているわけである。

[14] 誰か(が) 電話してきたよ.

有人给你打电话了。

いる人 に あなた かける 電話 <完了>

[15] 誰かに聞いてみよう.

我问问 别人。

私 ちょっと聞く 他人

[16] 私のいない間に誰か来た?

我不在的时候有人来过吗?

私 <否定> いる ~の時 いる人 来る <終結> <疑問>

[17] 誰か来たら、私に教えてください。

要是有人来了，就 跟我说一声吧。

もし いる人 来る <完了> そしたら に 私 言う 一言 <提案>

以上の「誰か」は中国語では不定の人物ととらえられている。[14][16][17]では“有人”が用いられているが、全て主語の位置に生起していることに注意したい。文法構造としては、“有”が「ある、いる」という動詞、“人”が「人」という名詞で、この“人”が動詞“有”の目的語になっていると同時に、後半部分の動詞句（[14]でいえば“给你打电话了”（あなたに電話をかけてきた））の動作主を兼ねているので、中国語の伝統文法でいうところのいわゆる「兼語文」を構成している。

[15]の「誰か」だけは、主語ではなく動詞“問”（聞く、尋ねる）の目的語の位置に置かれているので、“别人”（他人、ほかの人）という語彙で表されている。

[18] 今日は誰も来るとは思わない。 / 今日は誰も来ないと思う。

我想今天谁也不会来。

私 思う 今日 誰 も <否定> <可能性> 来る

[19] そこには今誰もいないよ。

现在那儿一个人也没有。

今 そこ 1 人 人 ~さえ いない

[18][19]は全部否定の表現である。[18]は「誰も」の部分に疑問代詞“谁”を用い、「疑問代詞+“也”（または“都”）+否定表現」のパターンで構成された文である。[19]は「誰も～ない」の内容を「1人も～ない」という角度から表現し、「“一”+量詞+名詞+“也”（または“都”）+否定表現」という形で示している。

[20] （それは）誰でもできる。

谁都会做。

誰 みな <可能> する

[21] そんなこと (は), みんな知っているんじゃないか!?

那 种 事 大 家 不 都 知 道 吗?

それ 種類 事 皆さん <否定> みな 知っている <疑問>

[20]の「誰でも～(肯定形)」も, [18]の否定形の場合と同様に, 疑問代詞の非疑問用法が用いられるケースである。「疑問代詞+“都”+肯定表現」という構成になる。否定形の場合と異なるのは, 疑問代詞の後には, 否定形の場合は副詞“也”と“都”のどちらかを用いるということだったが, 肯定形の場合は一般に“都”しか用いない。[21]では, “大家”(みんな)という語彙を用いて表されている。

[22] そんなもの, 誰が買うんだよ!?, 誰も買うわけじゃないか!

谁 会 买 那 种 东 西 呢? 没 人 会 买 吧!

誰 <可能性> 買う あの 種類 物 <疑問> いない 人 <可能性> 買う <推察>

前半の“谁会买那种东西呢?”は, 疑問文の形をとっているが, この場合は反語文として用いられている。実際に言いたい内容は後半の“没人会买吧!”ということである。中国語では疑問文と反語文は形式上は違いがないことが多く, コンテキストの支えでそれが反語文であることがわかる。

[23] 君は英語がうまいね。

你 英语 很 好 啊。

あなた 英語 とても 良い <肯定>

[23]では, 例えば相手の話す英語を聞いて上手だと感じた話者が, 「あなたの英語は上手だ」と自分の判断を直接相手に伝えるわけであるから, 特に副詞などは挟まずにそのまま形容詞述語文を用いている。

[24] 君は退屈そうだね。

你 好像 很 无 聊。

あなた みたいだ とても 退屈だ

[24]では, 相手が退屈かどうかは相手の心の中の問題なので話者は断言することはできず, 例えば見た目などから相手が退屈なのではないかと推測して「退屈そうだ」と言っている。その場合は副詞“好像”(まるで～のようだ, ～のような気がする, どうも～みたいだ)を用いて表現する。

[25] 明日も寒いらしいよ。

听说 明天 也 很 冷。

だそうだ 明日 も とても 寒い

[25]の「～らしい」で表されているのは伝聞である。動詞“听说”(聞くところによると～だそうだ)を使って伝聞の内容を表すことができる。

参考文献

- 陈平.1987.「释汉语中与名词性成分相关的四组概念」,『中国语文』第2期.
徐烈炯·刘丹青.1998.『话题的结构与功能』上海教育出版社.

執筆者連絡先:tmiyake@tufs.ac.jp